

決算を認定

4つの柱を中心に慎重審査

H22年度歳入歳出決算（概要説明）一般会計の歳入歳出の決算額は、歳入総額132億8564万円、歳出総額128億2384万円となった。（内訳下表）

**安心して
住み続けられる
健康・福祉の
まちづくり**

支援や、認定農業者の育成、企業の農業参入を促進し、更に、6次産業の推進や地産地消に取り組んだ。

**豊かな心を育む
教育・文化の
まちづくり**

健康増進対策は、総合健診、誕生月健診等の実施に加えて、女性がん（子宮がん・乳がん）の個別検診により受診率の向上を図った。広島大学と世羅中央病院で実施している高齢者疾病予防研究事業を支援し、住民の疾病予防および健康管理意識の高揚を図った。

H23年4月の小学校統合に向けて統合準備委員会・開校準備委員会を設けて準備、併せて各学校施設の耐震化や太陽光発電などの施設整備に取り組んだ。

**産業が元気な
まちづくり**

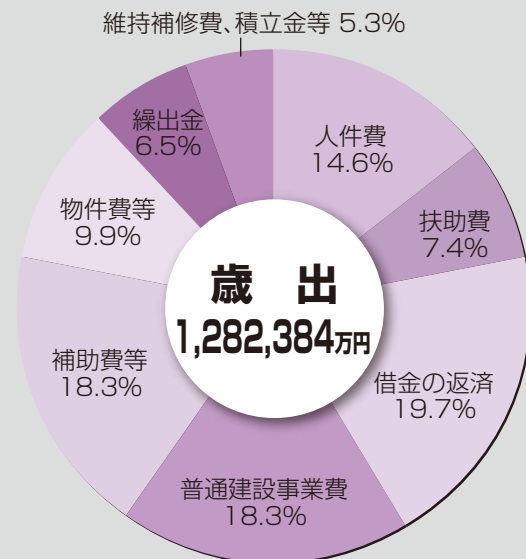
10年先を見通した農業振興計画についてH23年度中の策定を目指し着手した。集落農場型農業生産法人の設立

H23年4月の小学校統合に向けて統合準備委員会・開校準備委員会を設けて準備、併せて各学校施設の耐震化や太陽光発電などの施設整備に取り組んだ。また、閉校に関しては交付金を交付し閉校式・記念イベントを地域との協働により実施した。学校教育は変化の激しい社会にあって、世羅の子どもたちが自分から考え自立し、たくましく生きていく

単位：万円

歳入決算額		
町 税		197,880
分担金、負担金等		102,285
地方交付税		582,343
国の補助金		162,697
県の補助金		105,738
町の借金		125,922
地方譲与税		21,213
地方消費税交付金		30,486
合計		1,328,564

歳出決算額		
人件費		187,332
扶助費		94,720
借金の返済		252,168
普通建設事業費		234,562
補助費等		234,621
物件費等		126,909
繰出金		83,871
維持補修費、積立金等		68,201
合計		1,282,384



決算に 反対 賛成

平成22年度

反対

3番 矢山 武

H22年度は、一般会計、後期高齢者医療(特)、介護保険(特)公共下水道(特)に反対する。合併後7年が経過し殆どの農家が赤字である。希望のある農村に後継者の育成が急がれる。高齢者は年金が下がり、安心して治療が受けられない。公共下水2期工事は当面見送るべき。統合後

賛成

7番 福田 義人

の教育は、一層信頼を高める取組が必要であり、反対討論とする。
①安心安全のまちづくりは、自治センターが指定管理に移行し、地域の課題解決に自ら取り組む基盤ができた。②10年先の農業を守るための新規就農者確保。鳥獣被害防止に取り組んだ。③教育は、

反対

4番 安佐 長秀

町長の町民に対する公約は、キラリと光る町、住民目線の行政執行であるが、高齢者の

賛成

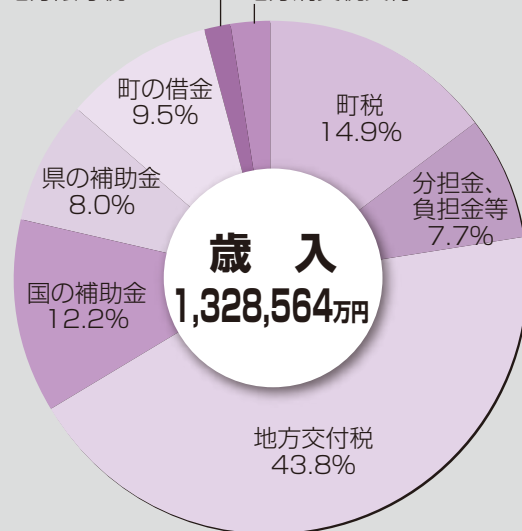
13番 永田 英則

H22年度事業の4点を評価する。①自治センターが指定管理に移行し、地域ビジョンづ

ため、適正規模の児童数のなかで切磋琢磨し、望ましい集団生活をとおり社会性や豊かな人間関係を育んだ。
快適で、安全なまちづくり
尾道松江線の新たな地域拠点の形成、近隣市町への時間短縮、及び災害時における代替道路の確保などのため

早期整備を働きかけた。H26年度中の供用開始にむけて早期整備を働きかける。
フライトロードはH23年4月に供用開始された。調査区間である三原市大和町から世羅町までの14kmを整備区間に指定するよう関係機関と連携し取り組んだ。

地方譲与税 1.6% 地方消費税交付金 2.3%



※(特)は特別会計